

第16回環境化学討論会（於北九州市）に参加して

分析研究科 西野 貴裕

平成19年6月20日～22日に北九州国際会議場において、第16回環境化学討論会（主催：日本環境化学会）が開催されました。国や自治体の研究機関や大学など様々な関係者が集まり、これまでの研究成果について報告するもので、口頭発表で約130テーマ、ポスター発表で約250テーマと非常に大規模なものでした。

当研究所からも5名参加し、4テーマ報告しましたが、この中で私の報告した「多摩川水系における1,4-ジオキサンの動態調査」について概要を述べさせていただきます。

河川における1,4-ジオキサンの動態を調べるため、平成17年11月2日と15日に多摩川本川の上流域から中流域までの6地点（永田橋から調布取水堰まで）と、その区間で多摩川に流入する支川（浅川や谷地川など）や下水処理場の放流口で水試料を採取し、分析を行いました。1,4-ジオキサン濃度は中流域の立日橋以降から上昇し、流入支川や下水処理場放流水からの影響を受けていることが分かりました。また、1,4-ジオキサン濃度と流量をかけて算出した負荷量に関しては、本川における実測負荷量と、支川や下水処理場放流水からの負荷量を順次積み上げた積算負荷量の値がほぼ一致したことから、本川流入後、1,4-ジオキサンは大半が分解することなく河川を流下し、支川及び下水処理場の寄与率について算出したところ、支川からが約25%で、残りが下水処理場を介して流出していたことが分かりました（下図参照）。

この他にも当研究所からは、都内における大気中のダイオキシン類の実態や大気中揮発性有機化合物（VOCs）のモニタリング、土壌中VOCの公定法分析と簡易迅速分析について報告しましたが、いずれの報告においても多くの関係者と様々な議論を交わしていました。

また、20日の夜には軽食をとりながら和やかな雰囲気の中で、様々なテーマについて議論を交わすナイトミーティングが行われ、その中で私は大気や水環境中の多環芳香族炭化水素（PAHs）に関する研究成果や分析上の問題点について話題提供をし、摂南大学の宮田先生をはじめとした多くの方々からアドバイスをいただきました。

本討論会を通じて多くの方と知り合うとともに、今後の研究に向け非常に有用な情報交換ができ、大変有意義な討論会でした。

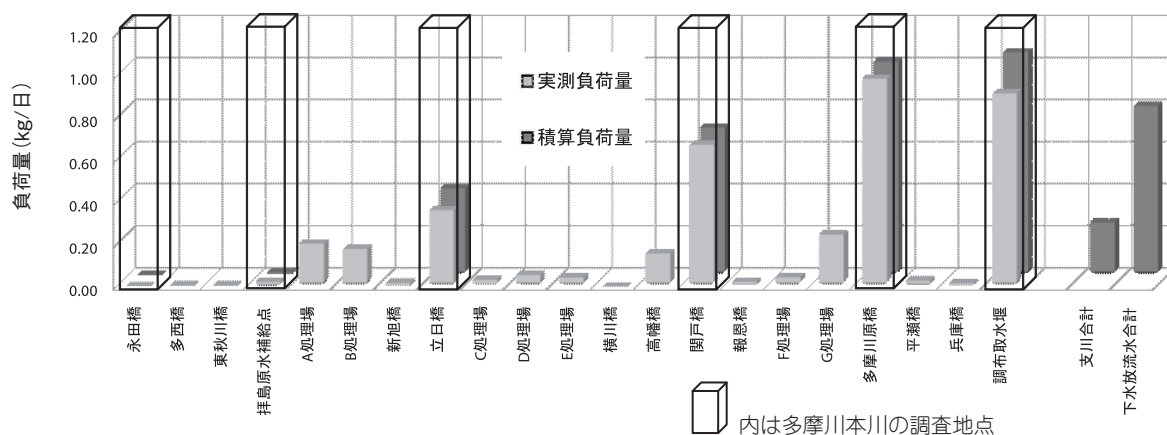


図 1,4-ジオキサンの1日あたりの実測負荷量と積算負荷量（平成17年11月15日測定分）

研究所トピックス

①においおり環境協会学術賞受賞

調査研究科上野広行研究員は、平成19年5月31日（木）に東京にて開催されたにおいおり環境学会平成19年度定期総会において、平成18年度においおり環境学会学術賞を受賞し表彰を受けました。

上野研究員は、これまでに当研究所で開発されたにおいの測定法である三点比較式臭袋法の研究をはじめ多くの悪臭公害対策に関する研究に携わってきました。平成17年度には、欧州の嗅覚測定規格のオルファクトメータ法との比較検討のためポーランド大学との共同研究も行う等、精力的に研究活動を行ってまいりました。これら嗅覚測定法の科学的裏付けに大きく貢献したことが認められての受賞となりました。

嗅覚測定について施設公開ご来場者に説明中の上野研究員



②平成19年度施設公開を行いました

第48回科学技術週間中の平成19年4月21日（土）に「施設公開」を行いました。当日は、102名の方々にご来場いただきました。自動車排出ガスや廃棄物、ヒートアイランド現象など身近な環境問題について研究員の解説を熱心に聞きながら展示内容をご覧いただき、盛況のうちに終了しました。お帰りの際にはアンケートにもご回答いただき有難うございました。アンケート結果を今後の研究の参考に役立ててまいります。



●東京都環境科学研究所は、東京都の受託を受け調査研究を実施しています。●

記事へのご意見、ご感想等ございましたら下記の東京都環境科学研究所あてお寄せ願います。

編集・発行 財団法人東京都環境整備公社 東京都環境科学研究所
〒136-0075 東京都江東区新砂一丁目7番5号
TEL 03(3699)1331(代) FAX 03(3699)1345
ホームページ <http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/kankyoken/>

印刷 (有)彩美企画印刷
資料番号 19023
登録番号 (19)76
2007年9月発行